

衆議院予算委員会ニュース

平成 22.3.2 第 174 回国会第 19 号

3月2日(火) 第19回の委員会が開かれました。

- 1 平成 22 年度一般会計予算
平成 22 年度特別会計予算
平成 22 年度政府関係機関予算
 - ・鳩山内閣総理大臣、菅財務大臣、川端文部科学大臣、長妻厚生労働大臣、赤松農林水産大臣、前原国土交通大臣、平野国務大臣(内閣官房長官)、中井国務大臣(拉致問題担当)、仙谷国務大臣(「新しい公共」担当)、枝野国務大臣(行政刷新担当)、野田財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
 - ・平野国務大臣(内閣官房長官)から発言がありました。
 - ・質疑を終局しました。
 - ・町村信孝君外 2 名(自民)及び笠井亮君(共産)から、撤回のうえ編成替えを求めるの動議が提出され、提出者からそれぞれ趣旨弁明を聴取しました。
 - ・平成22年度予算 3 案及び撤回のうえ編成替えを求めるの動議 2 件に対し、糸川正晃君(民主)、田村憲久君(自民)、大口善徳君(公明)、笠井亮君(共産)、阿部知子君(社民)及び浅尾慶一郎君(みんな)が討論を行いました。
 - ・町村信孝君外 2 名(自民)提出の撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。
(賛成 自民 反対 民主、公明、共産、社民、みんな、国民)
 - ・笠井亮君(共産)提出の撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。
(賛成 共産 反対 民主、自民、公明、社民、みんな、国民)
 - ・平成22年度予算 3 案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決めました。
(賛成 - 民主、社民、国民 反対 - 自民、公明、共産、みんな)

(質疑者及び主な質疑内容)

松原 仁君(民主)

- ・デフレ脱却について、以前の委員会において、鳩山内閣総理大臣が日銀に期待する旨の発言をしているが、デフレ脱却に対する決意を伺いたい。
- ・東京を魅力のある国際都市に再生する戦略について、羽田空港の24時間運用以外にはどのような施策を考えているのか、前原国土交通大臣に伺いたい。
- ・世界の偉大な先達の言葉の中にも「新しい公共」に類似する概念が見受けられる。「新しい公共」実現に向けての仙谷国務大臣(「新しい公共」担当)及び鳩山内閣総理大臣の所見を伺いたい。

阿部 知子君(社民)

- ・朝鮮学校が高校無償化の対象から外れた場合、子どもが朝鮮学校に通う世帯は、扶養控除の上乗せ分の廃止によって、負担増になるのではないかと、川端文部科学大臣の認識を伺いたい。

下地 幹郎君(国民)

- ・普天間基地移設問題の5月決着にける鳩山内閣総理大臣の決意を伺いたい。

加藤 紘一君(自民)

- ・北海道教職員組合の幹部が逮捕された事件について、鳩山内閣総理大臣及び川端文部科学大臣の所感を伺いたい。
- ・長崎県知事選等で民主党推薦の候補者が落選していることについて鳩山内閣総理大臣はどう受け止めているのか。また、政治家の現地視察等の場に官僚を同行させるのは問題なのではないか。
- ・国税庁は、一般国民と内閣総理大臣を同じプロセスで訴追できるのか。
- ・平成 22 年度予算の主要な項目について、恒久的な支出か一時的な支出かを伺いたい。

富田茂之君(公明)

- ・高校無償化を国が行うことにより、これまで都道府県が行っていた授業料減免のための予算が削減される懸念がある。これにより私立学校において授業料が全額免除されていた生徒は負担増になる可能性があると思われるが、政府の見解を伺う。
- ・就学支援基金の運用において、実施要領にあるとおり授業料と同等に施設整備費も対象とするよう徹底するほか、さらに生徒の納付金全体、入学金にも拡大する必要があると思うが、政府の見解を伺う。
- ・平成 21 年度補正予算見直しにおいて、疾患重点分野における医薬品等の開発支援分 753 億円から、適用外薬の開発支援分 653 億円を執行停止した。平成 22 年度予算においては、診療報酬改定の中で薬価に 700 億円上積みし、厚生労働省が開発要請する適応外薬の開発等を実施する企業について加算することとしているが、これによって適用外薬の開発が促進されることとなるのか。また、この新たなスキームの評価について政府の見解を伺いたい。

笠井 亮君(共産)

- ・胆沢ダムを受注したゼネコンが政治団体をつくり、小沢民主党幹事長側へ献金をしていることは重大だと思われるが、鳩山内閣総理大臣の見解を伺う。
- ・胆沢ダム本体工事をめぐって、国土交通省公正入札調査委員会に 2 件の談合情報が寄せられ、その情報どおりに企業が受注していたとしているが、本件につき、同省としてどのような調査を行う方針であるのか。
- ・胆沢ダム第 1 期工事において総合評価落札方式が採用されたが、評価の点数は明らかになっているものの、点数の理由が不明確な場合がある。前原国土交大臣は、恣意性を排除するためにも、同方式を見直していきたいと述べているが、具体的な見解を伺う。

浅尾 慶一郎君(みんな)

- ・政府は、平成 23 年度予算の国会審議から公共事業の仮配分資料を提出するとしているが、資料提出の時期は予算審査の前という認識でよろしいか。
- ・民主党は、マニフェストにおいて国家公務員の総人件費を 2 割削減するとしているが、具体的な方策について伺いたい。
- ・我が国における景気回復の要素としては技術革新が重要であると考えるが、来年度予算において科学技術振興費を削減した理由は何か。